

## 東洋産業だより

Vol. 232



## カラス撃退プレート「カケフ」

図1 ハシフトガラス(左)とハシボンガラス(右)  
頭がハシフトガラスは丸く、ハシボンガラスは平ら

暦の上では立夏となり、徐々に春から夏へと季節が移り始めています。植物の成長や生き物たちの活動が一層に活発となってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

生き物の活動が盛んになることは良いことのようにですが、私たちにとって問題となることがあります。例えばカラス。カラスは3～7月に繁殖期を迎えるため、今まででなかった場所に巣ができて、騒音、糞害、製品やゴミをつつかれるといった被害が発生します。

私たちが身近に見かけるカラスは主に「ハシフトガラス」と「ハシボンガラス」の2種類です。ハシフトガラスはその名の通りくちばしが太く、ずんぐりした体型、ハシボンガラスはくちばしが細く、スマートな体型です(図1)。特にハシフトガラスは警戒心が強く、繁殖期は人への攻撃被害が多い

のでご注意ください。

カラスの五感の中で最も鋭いのは視覚です。ヒトの色覚は赤緑青の3原色ですが、カラスはそれに紫外線を加えた4原色を識別できるといわれます。さらに、視力はヒトの約5倍ともいわれており、私たちとは違う世界が視えているようです。

カラス対策では、こういったカラスの特徴を利用することも有効です。今回紹介をさせて頂くカラス撃退プレート「カケフ」もカラスの視覚に訴えかけることで、カラスを追い払うものになります。カラスにとって視感度が最も高い光は、青紫色(410nmの波長)の光です。「カケフ」は太陽光を410nm波長の光に変換する特殊素材で、カラスが最も眩しいと感じる光を効果的に反射することができます。カラスが停留して

いる高所ではなく、停留場所付近の腰高ぐらいの高さに1m間隔程度で設置することで効果が期待できます(効果は約1ヵ月間持続)。実際に弊社近所のゴミ置き場に飛来していたカラスは、テスト設置後、その姿を見かけることがなくなりました。

設置に関しては、設置枚数や間隔、吊るし方(風に揺られるようにする)などが重要で、単に吊るすだけではなかなか効果が出ない場合があります。設置をご希望の際はお気軽にご相談下さい。

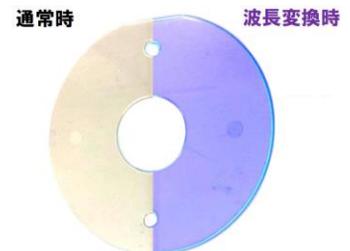


図2 カケフ(CDのような形状のプラスチック素材)

## 今月の豆知識

## カラスは不吉？それとも吉兆？



カラスといえばどんなイメージをお持ちでしょうか？カラスは不吉で縁起が悪いと感じる方もいるかと思いますが、でも、実は縁起の良い、幸運を呼ぶ鳥なのでは？今回はそんなお話です。

日本神話には八咫鳥(ヤタガラス)というカラスが登場します。カムヤマトイワレビコ(のちの神武天皇)が東征(大和を平定する旅)の道中に、道案内として神が遣わしたのがヤタガラスだとされます。ヤタガラスの先導により、旅は順調に進み、無事初代天皇に即位したとされます。その伝説からヤタガラスは「導きの神」ともいわれています。ちなみにヤタガラスは日本サッカー協会のマークにも使われています。ぜひWC優勝にも導いてもらいたいですね。

イギリスでは「ロンドン塔のワタリガラス」という伝説でカラスが登場します。17世紀、ロンドン塔にはワタリガラスが住み着いていました。この状況を見かねたチャールズ2世が駆除を検討したところ、占い師に「カラスがいなくなるとロンドン塔が崩れ、イギリスが滅びる」と予言されたそうです。その後、チャールズ2世は「塔のカラスを6羽より減らしてはならない」と命じ、衛兵がカラスの世話をするようになったとされています。現在は塔周辺でワタリガラスは見られなくなりましたが、塔の敷地内に7羽(予備1羽を含む)のカラスが飼育され続けています。

その他に金烏を始め、カラスが題材の伝説は世界中に見られます。少し見方が変わってきませんか？